



# IGAS 2007

International Graphic Arts Show  
Tokyo, Japan / Sept. 21-27, 2007

## 主催者特別企画イベント

### 国際シンポジウム2007

「アジアの印刷 その現状と将来」と題し、躍進するアジア主要国の印刷事情を各国一流大学教授らが総括する「国際印刷シンポジウム2007」が9月25日、東京ビッグサイト会議棟で開催される。

これからの発展市場として全世界の注目を浴びているエマージングマーケットの中からアジアに焦点を当て、各国(タイ、韓国、インド、中国、日本)における印刷産業の現況、印刷技術・印刷教育・人材育成の現状/課題と今後の展望につき、各国を代表する大学教授が解説する。講演は日本語又は英語となるが、同時通訳(日=英)も行なわれる。事前登録制で、受講料は一般1,000円、学生500円。

### VRシステム公開

西館1Fアトリウムに大型スクリーンとコンピュータを要した「VRシアター」を設置し、印刷のグラフィック技術を進化させた新しい表現方法として注目を集めている「VRシステム」を公開する。



VRとは仮想現実、仮想空間を意味し、コンピュータで生成された三次元グラフィックスの映像の中を自由に移動しながら、あたかも三次元空間にいるような「仮想の現実感」を体験できるデジタル映像技術で、観客の目の前に意図的に空間を再現、臨場感あふれる体験を実現する。空間を構成する高精細三次元データ(形状、質感、光など)と、そのデータをリアルタイムに描画生成する技術が、鑑賞者に映像と一体化するような投入感や対話性、リアリティを伴う感覚を喚起させる次世代型のメディアである。

### 先進技術展示

会期中を通じて、未来のプリントメディアを担う先端・先進技術を、全国の大学研究室・研究機関が紹介する先進技術ゾーンが設けられる。場所は西館1Fアトリウム。

先進技術の見学、研究機関と業界とのコミュニケーション、産学連携の場として企画されたもので、内容は、画像処理、画像認識、カラーマネジメント、超微細加工、機能性材料、ディスプレイパネル、ホログラフィー、ウェブハンドリング、環境化学、安全設計など、さまざまな分野での出展が予定されている。

#### 【出展大学・団体】

▽慶應義塾大学▽東京大学▽産業技術総合研究所▽東京電機大学▽千葉大学(五研究室)▽東京農工大学▽筑波大学▽長岡技術科学大学(二研究室)▽電気通信大学▽名古屋工業大学▽東海大学(三研究室)▽日本印刷学会▽東京工業大学(二研究室)▽横浜国立大学▽東京工芸大学(二研究室)▽早稲田大学

### 特別講演

9月22日の午前10時30分から、元大蔵省印刷局業務部長の植村峻氏による「世界の紙幣印刷の現状とその動向」と題した特別講演が、東京ビッグサイト会議棟で開催される。

講演内容は、▽世界の紙幣、銀行券の需要と製造動向▽主要国における紙幣の製造体制▽紙幣印刷用の機材の動向▽世界の紙幣の偽造動向と対抗策▽最近における主な偽造防止技術改良及び生産技術の改良▽キャッシュレス、ATMなどの自動機器との関連、プラスチック・マネーの普及-など。なお、同講演会は事前登録制。受講料は無料。

▽講師：植村峻(うえむら たかし)氏

現在、財団法人・印刷朝陽会専務理事、事務局長。お礼と切手の博物館顧問。財団法人・フィラテリーセンター(切手の博物館)理事



### ミズノプリンティングミュージアムのコレクション展示

西館1Fアトリウムにおいて、歴史的な印刷関連資料を有するミズノプリンティングミュージアムのコレクションが展示・公開される。

ミズノプリンティングミュージアムは、古今東西の印刷の歴史的資料を集めた博物館。印刷会社のミズノブリテック(株)の社長である水野雅生氏が、ドイツのミュンヘン工芸大学に留学中の夏休みに、ケンブリッジ大学の図書館で百科事典を開いていたところ、日本の「百万塔陀羅尼経」が現存する世界最古の印刷物であると書かれていたことに驚愕したことをきっかけに、40年にわたって集めたコレクションが展示・公開されている。今回、そのコレクションの一部が、移設展示されることになった。



IGAS2007が9月21日から27日の7日間、東京ビッグサイト東西全館を使用して開催される(詳細前号既報)。キャッチフレーズは「プリントメディアの未来-信頼と進化」。バーコード付き入場券の採用、循環バスの導入、メインゲートを西館に設ける-など、新たな試みが盛り込まれる他、主催者特別企画イベントも多彩に展開される。

### 国際シンポジウム2007 プログラム

09:40	開場
10:30 ~ 10:35	〈開会挨拶〉 座長 千葉大学 教授・工学博士 三宅 洋一
10:35 ~ 11:25	〈講演1〉 「日本における印刷 その現状と将来」  三宅 洋一 千葉大学 教授、博士 フロンティアメディカル工学研究開発センター長 大学院融合科学研究科情報科学専攻 日本、千葉市
11:30 ~ 12:25	〈講演2〉 「タイにおける印刷 その現状と将来」  Aran Hansuebsai チュラロンコン大学 准教授、博士 画像&印刷工学科 主任 タイ、バンコク市
12:25 ~ 13:30	【昼食】
13:30 ~ 14:25	〈講演3〉 「韓国における印刷 その現状と将来」  Yeong-Ho Ha 慶北大学 教授、博士 電気工学&コンピュータ科学専攻 韓国、大邱市
14:30 ~ 15:25	〈講演4〉 「インドにおける印刷 その現状と将来」  Lalitha Jayaraman アナ大学 教授、博士 印刷工学科 主任 インド、チェンナイ市
15:25 ~ 15:45	【休憩】
15:45 ~ 16:40	〈講演5〉 「中国における印刷 その現状と将来」  蒲 嘉陵 PU, Jia-Ling 北京印刷学院 副院長・教授、博士 中国、北京市
16:50 ~ 18:30	〈懇親会〉

発行 近畿印刷産業機材協同組合 〒537-0021 大阪市東成区東中本3-2-5 電話06-6981-2931 FAX06-6972-8463

当会報誌「KPMA」は、中小企業人材確保推進事業助成金により発行しています。